



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

『一に成長、二に成長、三に成長』

～成長なければ雇用なし～

民主党の代表選は政策論争に乏しく、相変わらず財源なきバラマキ論に終始した。この間、急激な円高の進行や株安で市場が混乱したにもかかわらず、臨時国会を召集することもなく、予定通りひと月にも及んで代表選を繰り広げ、政治空白を招いた責任は大きい。

民主党は野党時代、総理が変われば総選挙をして国民に信を問うべきだと主張してきたにもかかわらず、そうするどころか、この一年足らずの間に短命政権が連続する可能性もあったわけで、国民の政治不信を一層増幅させることにもなった。

そもそも菅首相は代表選で「一に雇用、二に雇用、三に雇用」と延べ、雇用対策の重要性を何度も繰り返し述べた。しかし、まるで順序が逆だ。企業が業績を伸ばして成長するから雇用が生まれるのであって、雇用を生み出したから成長するわけではない。しかもどうすれば雇用を生み出せるかがクリアではない。

例えば、卒業後3年間は新卒者扱いとして、企業が採用した場合、補助金を出す仕組みを打ち出したが、経済成長が期待できなければ、企業は人件費負担増を嫌って容易には雇用増に動かないことは明白だ。雇用を起点に経済成長につなげようという首相の発想は、経済オンチも甚だしい。首相が言うように人材不足の介護や保育の分野に税金を投入して雇用者を増やしても、生活が安定する人は増えるだろうが、経済成長につながる革新的なアイデアは生まれず、経済が強くなるわけではないのだ。



北京で少数民族の小学校を訪問しました

ただ、雇用拡大に取り組んだ企業に、法人税減税などで優遇する方針を打ち出した点は評価できる。法人税減税で企業の経済活動が活発になるよう刺激していくことは必要だと思う。その上で法人税の恒久的な減



訪問先の小学6年生が描いてくれました。ビックリです！

税に踏み切るべきだ。国と地方を合わせた実効税率が20%台の中国や韓国はもちろんドイツをはじめEU諸国と比べて、日本だけが約40%では高過ぎる。一方で、実際に法人税を納めている企業は3割しかなく、法人税収はピーク時の19兆円から5兆円にまで減っているのが実態であり、企業が儲かっていない事実を直視する必要がある。

わが党は、政策不況ともいべき民主党政権に対して、5兆円規模の緊急経済危機対策を取りまとめてその実行を迫っている。派遣の規制強化や最低賃金の引き上げなどアンチビジネスな政策に固執する現政権では、企業を海外へ追い出し、産業の空洞化を招き、結局は「雇用」を失うことになってしまう。今、求められるのは、税制の抜本的な見直しや規制緩和を通して『一に成長、二に成長、三に成長』を最優先にした具体的な成長戦略の実行そのものだと思う。

衆議院議員

秋葉賢也

Think Globally, Act Locally!

☆現地・現場・秋葉☆ 視察レポート第2段

北欧の会計監査とオンブズマン制度を視察！

秋葉代議士が理事を務める決算行政監視委員会の代表議員5名で8月、北欧へ会計検査院とオンブズマン制度の視察に行きました！当委員会の所管は決算行政委員会ですが、対象は国政全般にわたることから、福祉施設やNOKIAも訪問しました。

オンブズマン制度は、スウェーデンで議会の補助機関としてスタートしました。その名も「議会オンブズマン」。類似の機能を持つ日本の行政相談が行政側に立つ（総務省）のとは大きく違います。

日本でオンブズマンというと、仙台市民オンブズマンのような、市民の運動家というイメージが強いですね。しかし、もともとは「護民官」、つまり民意を守る立場として活躍した歴史があり、苦情受付のプロ、民意の吸収機関のひとつとして、憲法によって設置されているのです。このような制度は日本にはなく、県議時代から作りたかったのですが、法律の壁に阻まれて実現できませんでした。

議会オンブズマンは1人で、その下に数十人のスタッフがいます。国会議員だけで行政組織に切り込んでいくのには限界がありますが、スタッフが大変充実しており、民意（苦情）をルール改正などに反映できるよう、効果的に議会をサポートしているという印象を受けました。

やはり、行政に対する苦情を行政の中ではなく、それに対峙する機関に独立して設置するのが効果的です。議員個人の意見集約機能を、法律の専門家がサポートすることで民意の吸収は飛躍的に向上するでしょう。

宮城県の県政オンブズマンは行政側に設置されましたが、苦情を訴えた人に対して結果をレスポンスする義務があることは大きな進歩でした。EUではすでに全加盟国に広がっているという議会オンブズマン。次のステップは、オンブズマン制度を日本でも「議会のサポート機関」として導入することです！

北東アジア発展フォーラム in 中国に参加！

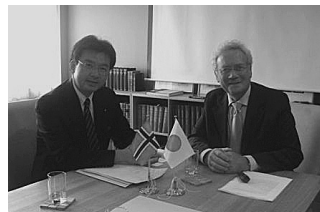
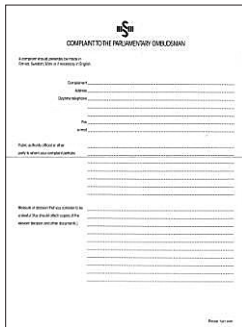
今年で3度目の開催となる「北東アジア発展フォーラム」に、日本代表として招待を受け、参加しました！社会科学院も訪問。ここは政府直属のシンクタンクで、政策に対する非常に大きな影響力と、アメリカと比較しても遜色のないマンパワーを有しています。政経塾時代から交流があった方が副所長として在職しており、驚くとともに大変嬉しく、旧交を温めました。

また、全国人民代表会議（全人代）常務委員会副委員長の李建国氏（中国 No. 8 の実力者！）にお会いする機会もありました！ちなみに李氏は9月中旬に訪日の予定でしたが、尖閣諸島周辺での船舶衝突事件の影響で延期されています。



←ノルウェーの会計検査院にて

ノルウェーの議会オンブズマンのフリフレット氏と意見交換↓



←オンブズマンへの苦情は文書のみでの受付。このような用紙がパンフレットと一緒に頒布されています。（スウェーデン）

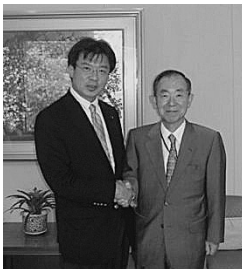
ハイテク・フィンランドを実感！ 菅・成長戦略に危機感

いまや全世界の携帯電話端末市場で、約4割という驚異的なシェアを占めるNOKIA。ヘルシンキにある本社を訪問し、経営幹部から成長の秘訣をうかがいました！

フィンランドでは、法人税の実効税率が26%で、約40%の日本と比べるとはるかに低い水準です。さらに、優秀な外国人を確保するため、外国人幹部社員に対する減税措置がとられています。また、社内の公用語は英語。この結果、NOKIAでは外国人従業員が全体の3割以上、外国人株主も9割以上となりました。フィンランドの片田舎「ノキア」という町から始まった企業は、国の制度と「たゆまぬ技術革新」という社の努力相まって、名実ともにグローバルカンパニーへと成長を遂げたのです。

ライバル企業はどこか尋ねると、出てきたのは米アップルと韓国のSAMSUNG。日本の成長戦略に危機感を抱きました。まさに、「成長なくして雇用なし」。実効性のある成長戦略を再考すべきです。

元伊藤忠商事の丹羽宇一郎大使を表敬訪問しました↓



↑社会科学院にて。日本研究を大変重視しているそうです！

東北大学病院救命救急センター、再び訪問

7月に引き続き、東北大学病院の救命救急センターを訪問、今回は30年以内に99%の確率で発生するといわれている宮城県沖地震に備える救急医療体制について、お話をうかがいました。



宮城県沖地震が発生した場合、100～150人ほどの死者と500人以上の重傷者（入院が必要な人）が出ると予想されています。しかし現状は、県内で6人の救急搬送でも対応できておらず、10人の急患が出るとパニックになってしまいます。この状態では500人に対応できるわけがありません。**早急に広域搬送計画を策定するとともに、各省庁と連携して機動的な災害医療体制を整備する必要があると、貴重なお声をいただきました。**また、県の災害対応マニュアルが未だに作成されていないことも問題です。いつ起こるともわからない大地震。被害が出てからでは、いくら後悔しても遅すぎます。

代議士はその数日後に厚生労働省の担当者に現状を伝え、縦割り行政を打破し、早急に必要な措置をとるよう要請。**中止されていた国の補助を来年度から復活させると確約をとりつけました。**

自民党、5兆円規模の経済対策を発表！

～日本の将来に希望が持てるのはどちら？～

円高・株安といった経済への不安に対し、対策が後手後手にまわる民主党政権。そもそもリーマンショック後にわが党が実施した経済対策を、民主党政権が凍結したことが経済の悪化の大きな原因です。

9月初頭、自民党は責任政党として「緊急経済危機対策」を発表しました。国民本位の経済対策で、日本経済がこれ以上悪化することのないよう、**緊急かつ万全の対策の即時実行を、政府に提言します！**

ここがポイント!!

☆予備費だけに頼るのではなく、一刻も早く**補正予算を組み、実行するべき**である！

☆政府が永続的に経済対策を打ち続けるには限界がある。**官需から民需へのバトンタッチ**をスムーズに行えるよう、民の力を増強すべきである！

政府案と比較した以下の表をご覧ください。

判断するのは、あなたです！

	規模	財源	主な内容
自民党案	約5兆円	予備費 09年度決算剰余金 民主党マニフェスト政策の執行停止 建設国債 など	・地域の医療機能の集中的整備 (2500億円) ・中小企業の資金繰りの確保・充実 (2000億円) ・地域経済・雇用対策緊急交付金 (仮称) の実施 (1兆5000億円) ・住宅地・公共施設等の耐震工事早期実施 (4000億円) など
政府案	9200億円	予備費 (補正予算も検討)	・家電・住宅版エコポイントの延長 ・若年者雇用対策 ・環境分野の工場立地促進補助金 など

検証！

～2009衆院選マニフェストは今～

▽高速道路の無料化

→路線をかなり限定した社会実験にとどまる

▽ガソリン暫定税率

→名目的には廃止するものの、環境税に。

▽子ども手当

→23年度以降の支給額は未定

▽出先機関改革

→廃止できるのは1割程度の見込み

◎公立高校の実質無償化→本年4月より実施

民主党の口癖は「4年間でやります」ですが、既に1年が経過しています。本当にやる気があるのか、注視していかなくてはなりません。

総選挙から1年、経験不足との言い訳はもうできません。マニフェストは実行に移されているのか、ここで検証してみましょう！

一方、実行されている数少ない目玉政策でも…

☆再検討を！農業の戸別所得補償

農業人口が75万人減、就業人口260万人。05年比にして22.4%減という、大変厳しいデータが先日発表されました。自給率引き上げのために注目すべきは、5ヘクタール以上の農業経営体では耕地面積が増えていることです。ここからは経営が大規模化してきたことがうかがえます。

しかし民主党の進める戸別所得補償では、農地の集積が後退することが予想されています。

農業の効率を上げることが重要です！単なるバラマキでは、明るい将来像は見えてきません。

HOT NEWS!

4年ぶり2度目 自民党 副幹事長に就任しました!

このたび新役員人事が発表され、自民党の副幹事長に就任しました。また、外交部会長代理にも就任。新設された「影の内閣」では外務副大臣になります。重要な役職をいただき、これまで以上に責任感を持って、政務に党務に取組む決意を新たにしました! また新3役も全員50代と、がらりと若返りました。しかし、今や世界のリーダーは40代が主流。アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアなど主要国のトップは皆40代です。こんな若い人も自民党には沢山いたんだね、と言われるくらい、今後さらに大胆な世代交代が必要だと思えます。積極的に党改革を実行してまいります!

三鷹の森ジブリ美術館を訪問

久しぶりにジブリ美術館を訪ね、6年前に県議会で「ジブリワールド構想」を発表して以来お付き合いしている中島館長と懇談しました。スタジオジブリレイアウト展の仙台での開催について協力を要請するなど率直に意見交換! まだまだ「ジブリワールド」実現の夢はあきらめていませんよ!



↑ジブリ美術館にて



視察からの提言 「仙台カード」で観光振興を!

フィンランドで興味を持ったのが「ヘルシンキカード」。仙台市交通局「ジョイカード」のような公共交通機関のプリペイド機能に加え、市内60以上の劇場やレストランで割引が受けられるのです。

ヘルシンキカードを参考に、市内の動物園や博物館に無料で入れる「仙台カード」のようなものを作ったら、観光産業が一層盛り上がるのではないのでしょうか。

カンパのお願い

国民に身近でクリーンな政治活動を実現するため、葉書や切手のカンパにご協力ください!

国政報告会のお知らせ

ようやく通常国会が開会します! 秋の夜長を、秋葉代議士による国政報告を聞きながら過ごしてみませんか? お誘いあわせの上、ぜひご参加ください!

泉 区

日 時 10月22日(金) 19時~
場 所 将監市民センター 第1研修室

宮城野区

日 時 10月23日(土) 19時~
場 所 田子市民センター

若林区

日 時 10月30日(土) 19時~
場 所 東六郷コミュニティセンター

詳しくは仙台事務所(022-375-4477)までお問い合わせください。

国会見学ツアー、随時受付中!!

代議士の母校、丸森町立大内中学校の生徒さん達が、今年も修学旅行で国会見学に来られました!

事前に当事務所にご相談いただければ、国会議事堂だけでなく、新しくなった議員会館の中までご案内いたします。

東京へお越しの際はぜひご連絡ください!

▲国会事務所
TEL 03-3508-7392
FAX 03-3508-3632



母校、大内中学校の写真。
毎年来ていただいています。

看板設置のお願い

ポスター掲示用の看板を作成しました! 常時設置にご協力いただける方を募集しています。
詳しくは仙台事務所までお問い合わせください☆

~ kenya's PLOFILE ~



- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、48才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- (財)松下政経塾卒塾生(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 総務大臣政務官などを経て、現在、衆議院議員三期目。二度目の自民党副幹事長。
- 決算行政監視委員会理事、総務委員会委員、災害対策特別委員会委員、党外務部会長代理、新聞出版局次長、情報調査局次長を務める。
- 著書:「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。
- 趣味:野球(中学から高1まで)、空手(高1から高2まで)、音楽(仙フィルのファン、オリジナルCD有)、映画(ジブリの他は洋画中心ですね)。●CD:「スクラム」「ツーストライク」

秋葉賢也事務所

仙台市泉区上谷刈4-17-16

Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057

購読料 年額6,000円
編集 朝アクトジャパン